

総合訓練

総合訓練は、実際の火災等を想定し火災の発見から自衛消防活動、消防隊への引継ぎまで一連の流れを行う訓練です。

事前準備

- 消防計画をもとに自衛消防活動にかかわる任務分担を確認します。各任務においてもそれぞれの役割を確認しましょう。
- 訓練参加者へ火災の想定（火災発生場所、時間帯、お客様や従業員の人数）を周知します。
- 必要に応じ安全管理などの補助者を配置します。

訓練手順

- 火災発生後、状況に応じ通報、初期消火、避難誘導を開始します。
消防隊が到着後、情報提供を行います。

ポイント

- ◆ 訓練の想定は、ある程度具体的なものとし避難経路の制限や時間帯に応じた従業員数など実際の状況に即した形にしましょう。
- ◆ 訓練責任者は訓練の状況全般が把握できる位置に、補助者は安全管理上必要な個所に配置し安全を確認します。
- ◆ 消防隊到着時には、火災現場への誘導、火災の状況や逃げ遅れ等の情報提供を行います。
- ◆ 訓練のため失敗はＯＫです。終了後には訓練内容について反省、検討し記録を残しましょう。